

ほんにちは

議会ぎかいです

From 500 City Assembly



曾於市議会だより

第72号

令和5年5月1日
発行



大隅弥五郎伝説の里 満開の桜 (P24 参照)

目次 CONTENTS

- 02-10 第1回定例会
- 11 議決結果
- 12-22 市政を問う
- 23 各常任委員会等事務調査報告
- 24 夢にチャレンジ

ぜひ傍聴にお越しください！

第2回 定例会予定

- 6月12日 …………… 開 会
- 6月20日～6月22日 …… 一般質問
- 6月29日 …………… 閉 会

今号から議会で審議された議案等をTopics(トピックス)として市民の皆様にお知らせします。
 ※Topics(トピックス)とは英語のTopic(トピック)の複数形で「話題・出来事」の意味です。

Topics

第1回定例会

令和5年
2月24日から
3月24日まで
(29日間)

今期定例会では条例の改正や当初予算などの議案が提出され、審査・審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

Topic 1

**財部町高塚・桐原・溝ノ口
辺地の総合整備計画**

議案第1号 全会一致 可決

令和5年度から令和9年度までの5か年の総合整備計画を新たに策定するものです。

意見 高塚・桐原・溝ノ口地域は霧島ジオパーク関連の対象地域でもあり、道路整備については、早期完了に向けて

対策を講じるように。

Topic 2

消防団員の処遇改善を図る

議案第6号 全会一致 可決

消防団員の出勤報酬支給に關して、支給対象となる職務の内容及びその金額を明確にし、団員の処遇改善を図るため一部を改正するものです。

出勤報酬の内容	出勤報酬	出勤報酬に加算される報酬	費用弁償
災害、災害の発生が予想される場合における警戒又は行方不明者捜索の場合	1回(6時間内)につき6,000円	1回の出勤時間が6時間を超える場合は、3時間毎に3,000円が加算	1回につき1,000円
上記の職務以外に従事した場合	1回につき5,000円を超えない範囲内(規程で定める額)		
会議に出席した場合(公務のための旅行を伴うもの)	1日につき5,000円		曾於市職員の旅費支給規則の規定により算定した額に1,000円以内を加算した額
教育訓練機関が行う研修に出席した場合	1日につき5,000円		1日につき旅費条例の規定により算定した額に1,000円以内を加算した額



令和5年曾於市消防出初式の様子

問 消防団の地域行事への参加は支給対象になるのか。
答 鬼火焚きの際の警戒活動などの消防団でなければできない活動については、支給対象になる。

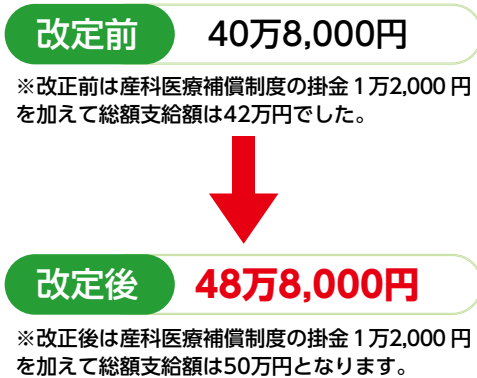
意見 地域行事については、消防団員の協力がなければ成り立たない状況もあり、柔軟な対応を望む。

Topic 3

出産育児一時金増額へ

議案第9号 全会一致 可決

国の健康保険法施行令等の改正に伴い出産育児一時金について次のとおり改正するものです。



産科医療補償制度とは、出産をしたときになんらかの理由で重度脳性麻痺となった赤ちゃんとそのご家族のことを考えた補償制度のことです。



雇用・労働力の創出
地域活性化継続へ

議案第17号

全会一致 可決

旧財部北中学校は平成25年4月1日から誘致企業として職業訓練事業を行う有限会社サイバーウェーブに無償で貸し付けています。今後も継続して事業展開することにより地域での雇用労働力の創出及び地域の活性化につながるものとが見込まれることから引き続き5年間無償貸付けするものです。(※令和10年3月31日まで)



たからべ森の学校 (旧財部北中学校) 内の『たか森カフェ』

さくら並木
ニュータウン内市道認定

議案第19号

全会一致 可決

宅地造成された財部のさくら並木ニュータウン内の道路を一般交通に供するため、さくら並木ニュータウン1号線から5号線までの5路線を市道として認定するものです。



さくら並木ニュータウン内の市道

令和4年度
一般会計補正予算を可決

議案第20号

全会一致 可決

各事業の確定及び執行見込みなど精算的なものによる増減が主なものです。

12億2622万円追加
予算総額
311億6377万円

総務常任委員会

(岩水 豊委員長)

【大隅支所庁舎整備事業】

問 用地取得費の減額の理由は。

答 用地交渉により予定価格を下回ったためである。

文教厚生常任委員会

(上村 龍生委員長)

【伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金一体的実施事業】

問 新規事業であるが内容は。

答 妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近な相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と出産育児関

連用品の購入等の「経済的支援」を一体的に実施するもので、このほかに出産祝金も次のとおり支援している。

出産祝金		出産・子育て応援給付金	
第1子・第2子	1万円	妊娠届出時に保健師等と面談後	5万円
第3子以降	10万円	出産後、「こんにちは赤ちゃん訪問」時に助産師・保健師等と面談後	5万円

妊産婦さんや養育者が入院等で面談が難しい場合は、市役所こども未来課へご連絡を！ (電話 0986-76-1734)

Link



【出産・子育て応援給付金について】市のホームページにリンクします。



産業建設常任委員会

(九日 克典委員長)

【大規模盛土造成地変動予測調査業務委託】

問 末吉中学校の調査が必要となった経緯は。

答 当初昭和30年から40年代にかけて盛土を行いその後校舎の建替えの際に再度盛土を行った。今回中学校のグラウンド部分の地山と盛土の境目らしき箇所が亀裂が入ったため、必要な調査を行っていく。



末吉中学校グラウンド調査の様子

意見 まちづくり推進課だけでなく教育委員会とも連携して、グラウンドの北側にある大淀川との関連についても調査の中で進めてもらいたい。

Topic 7

乳幼児・児童の
安全確保のために改正

議案第11号・13号

全会一致 可決

国の家庭的保育事業等・放課後児童健全育成事業設備や運営に関する基準の改正に伴い、福祉施設等における安全計画の策定等について、同基準に準じて改正を行うものです。

問 具体的な条例改正の内容は。

答 ICT化の推進や子どもの送迎バス等への置き去り防止安全装置の装備が義務化されること等が主な改正内容である。



Topic 8

新型コロナウイルス
ワクチン追加接種

議案第34号

全会一致 可決

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策に伴うワクチン接種に係る経費の追加です。

2億2932万円追加
予算総額
264億9932万円

Link



令和5年度の新型コロナウイルスワクチン接種についてのお知らせ(厚生労働省)にリンクします。
※今後国の検討状況等により変更となる可能性があります。

Topic 9

人権擁護委員候補者の推薦

諮問第1号

適任

人権擁護委員候補者として推薦するため、議会に諮問され適任とされました。

山本ひとみ氏(大隅町月野)

※任期は令和5年7月1日から3年間です。

Topic 10

個人情報保護に関する
条例の制定

発議第1号

全会一致 可決

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)が改正され、国の行政機関、地方公共団体の機関等(議会を除く。)における個人情報取扱い等に関する共通ルールが設定されたことにより、議会独自の個人情報保護に関する条例を制定するものです。

【訂正について】

令和5年2月1日発行の議会だより第71号P10
誤:「本校区」
正:「申請対象外である学校区」
訂正してお詫び申し上げます。

令和5年度 曾於市当初予算を可決しました

一般会計予算

262億7000万円
(前年比 2億8022万円 1.1%増)

特別会計予算

122億2345万円
(前年比 ▲7671万円 0.6%減)

企業会計予算

15億334万円
(前年比 1億9345万円 14.8%増)

予算総額

399億9679万円
(前年比 3億9697万円 1.0%増)

令和5年度事業の予算案が市長から2月24日に議会に示され、3月13日～3月17日まで各常任委員会の審査を経て、3月24日の本会議（最終日）に各委員長が報告し、可決しました。

議案第27号 令和5年度一般会計予算

全会一致 可決

市の人口増に繋がる住宅取得祝金、定住・移住をこれまで以上に推進

	祝金額	現制度【令和4年度】予算 1,900万円
住宅取得祝金	基本支給	10万円
	転入加算	20万円
	子ども1人	10万円
	子ども2人以上	20万円
	最大(住宅取得祝金額)	50万円



	祝金額	新制度【令和5年度以降～】予算 5,300万円
住宅取得祝金	基本支給	30万円
	転入加算	50万円
	子ども1人	10万円
	子ども2人以上	20万円
	最大(住宅取得祝金額)	100万円

問 住宅取得祝金と市有地活用補助金についての変更点は、次のとおりである。

人口増に繋がる住宅取得祝金、移住・就業支援金等の定住促進対策事業については、金額を増額し、定住、移住をこれまで以上に推進します。

※基準日：新築の場合は建物の表題登記日 中古物件購入の場合は建物の所有権移転登記日

	補助額	現制度【令和4年度】予算 300万円
市有地活用補助金	転入者以外	分譲地 購入金額 最大30万円
	転入者	10% 最大50万円
	最大(市有地活用補助金額)	最大 50万円



	補助額	新制度【令和5年度以降～】予算 600万円
市有地活用補助金	転入者以外	令和5年度より住宅取得祝金へ移行するため、市有地活用補助金は廃止。
	転入者	ただし、経過措置として令和4年度対象者については申請可能。
	最大(市有地活用補助金額)	また、申請対象外である学校区(末吉小・岩川小・財部小)については令和5年1月1日まで遡り、申請対象者とする。

※基準日：建物の所有権保存登記日

問 婚期が遅くなっている現状を踏まえ、市独自に年齢制限の引上げはできないか。

答 国の補助要件に準じて事業を推進していきたい。

問 結婚新生活支援補助金について。

答 財源は国からの2分の1の補助事業で、夫婦共に婚姻日における年齢が満39歳以下の方が対象である。

問 移住交流推進事業について。

答 オーダーメイド型移住体験ツアーで300万円の予算を計上している。曾於市に移住を考えている方の要望に沿った形でツアーを組み、実際に移住した際のイメージや、環境を感じてもらおうツアーとなっており、全額、市で負担する。

問 宅地分譲地整備管理事業について。

答 用地取得費として予算を計上しているが、3・4区画のミニ分譲を考えている。候補地はあるが、令和5年度本格的に交渉を行いたい。



一般会計予算 総務常任委員会所管分

旧恒吉中学校解体工事設計 業務委託料及びアスベスト 含有調査業務委託料

419万円

問 事業の内容は。

答 既存の建物の解体に要する事業費の積算を行い、解体を進めていきたい。また、旧大隅北中学校・旧月野中学校についても、今後、解体を前提としたアスベストの含有調査を実施していきたい。

南九州畜産獣医学 拠点事業

2億6,440万円

問 牛飼養事業者公募要綱案に対する問合せ状況は。

答 数者が現地の見学に来ている。



南九州畜産獣医学拠点
South Kyushu Livestock Veterinary center

新しく決定されたロゴマーク

増築庁舎開庁時に 導入した総合窓口

増築庁舎開庁時に導入した総合窓口による証明書の一括発行や、住民異動に伴う手続のワンストップサービスの充実を図っています。

問 本庁だけでなく財部・大隅両支所の窓口体制は本庁と同じであるのか。

答 支所については可能な限りワンストップに近い形で対応しているが、基本的には本庁だけである。



曾於市消防団分団 運営交付金及び 曾於消防署改修工事

434万円及び435万円

問 曾於市消防団分団運営交付金の内容は。

答 消防団の円滑な運営を図るため、新たに27分団に交付する。

問 曾於消防署改修工事の内容は。

答 女性消防士採用に伴う専用の仮眠室等を整備する工事であり、建物は曾於市で整備したことから本市で改修しなければならない。

一般会計予算 文教厚生常任委員会所管分

諏訪地区公民館 改築工事

1億3,556万円

問 加工施設が計画に入っていない。現在も年間1,300人程度の利用者がいるのになくなるのはどうなのか。

答 総合センターの加工施設が近くにあることから、現時点では計画に入っていない。加工施設は農政課所管となるため、協議したい。

意見 諏訪地区公民館併設の加工施設は必要であり改築工事に含めてほしい。

温泉券システム開発 導入事業

329万円

問 事業の内容は。

答 これまで紙ベースで温泉券を配付していたが、年度初めは多くの方が温泉券の手続に来庁されることから、高齢者の来庁負担軽減及び窓口の混雑緩和を図るため、令和6年度からカード方式へ変更したい。

問 利用可能施設やカードの更新はどのようになるのか。

答 利用施設は10か所程度を予定しており、導入後は年度切替えのカード更新の手続は必要なく、そのまま継続利用することができる。

高齢者訪問 給食サービス事業

1億2,636万円

問 変更の内容は。

答 材料費等の価格高騰により、訪問給食をこれまでの800円から900円へと100円増額するが、利用者負担は7月から50円増とした。予算総額は昨年とほぼ同額である。



地域医療支援費 都城圏域・曾於地区の 救急医療施設等事業負担金

2,810万円

問 それぞれの実績は。

答 令和3年度の曾於医師会立病院のレセプト数は1,575件で医療費は1億2,000万円、都城医師会立病院のレセプト数は620件で医療費は9,600万円である。

問 曾於医師会との医師会立病院の今後の在り方についての話し合いはどのようになっているか。

答 検討委員会を設置し、昨年12月19日に1回目の検討会があり、今後どのように進めていくか更に協議していく。

学校給食費 負担軽減補助金

7,732万円

問 補助率引上げについての内容は。

答 これまでの1/2以内から2/3以内へ補助率を引き上げる。財源は、思いやりふるさと基金を活用する。また、給食費の滞納者については児童手当から充当しており、未納者はいない。

給食費に対する助成額

	令和4年度(月額)	令和5年度(月額)
小学校	1,400円	2,900円
中学校	1,600円	3,300円

保護者の負担軽減となります



一般会計予算 産業建設常任委員会所管分

森林環境譲与税事業

1億388万円

問 事業における県内の事業実施計画の策定状況は。

答 本市が令和4年3月に県内で1番目に策定しており、県もほかの市町村に策定を促している状況である。

意見 本市における森林環境譲与税事業の取組状況については、県内でも上位に位置していると思われる、努力すれば全国的にも通用すると思うので、今後も事業を積極的に進めてほしい。

都市計画総務費 コンパクトなまちづくり 推進協議会負担金

3万円

問 本市におけるコンパクトなまちづくりに関する議論や協議がされているか。

答 令和4年10月からの組織再編で課内にコンパクトシティ推進室を設置した。これからの人口減少に備えて、長いスパンでコンパクトに集約していくという考え方で、今後のまちづくりを進めていきたい。

意見 コンパクトシティについては、ほかの自治体でも成功例があるので、本市においても公民連携まちなか再生推進事業で今後議論される内容を生かして、的確に進めて行くべきである。また、空き家バンクの登録件数が少ないので、もっと力を入れてほしい。

有機センター管理費

1億1,087万円

問 物価高騰の影響は。

答 当センターで生産・販売している堆肥製品の生産コストが燃料や資材の高騰により上昇しているため、本年4月1日から堆肥製品の価格を最大2割程度上げる改定をすることになった。

小規模水道事業費 飲料水水質検査補助金

26万円

問 飲料水水質検査補助金の予算額は。

答 令和5年度の予算額は例年と同程度であるが、令和4年度に水質検査を実施した組合は、現在、市で把握している組合数87組合のうち22組合であった。

問 最近、各組合へ実施したアンケートは、今後の課題を整理するためにされたと思うが、結果の集計はできているのか。

答 全86組合のうち約65%の組合から回答があった。まだ集計ができていないが、施設の老朽化や高齢化に伴う維持管理の問題を抱えているという意見があった。

意見 小規模水道組合も高齢化が進んでおり、維持管理が難しくなってきているので、積極的な支援をしてほしい。

有害鳥獣等駆除被害 防止事業有害鳥獣捕 獲補助金

4,326万円

問 猟友会に入って1年目の会員は報奨金がもらえないのか。

答 例年3月末に有害鳥獣被害防止対策協議会が開催されるが、その際に各猟友会の会長から推薦を受けた会員を有害鳥獣捕獲隊員案として提案し、承認されて初めて捕獲隊員となり、報奨金をもらうことができる。そのため、免許取得後の最初の協議会で推薦されることから、それまでは報奨金をもらうことができない。



交通安全施設整備事業 交通安全施設設置工事

1,884万円

問 当該工事について、ゾーン30の5か所は既に予定地が決まっているのか。

答 既に整備されている所の表示が経年劣化で消えかかっているところがあり、1・2年前から5か所ずつ更新している。今後も引き続き更新していくため、予算を計上した。



令和5年度特別・企業会計予算

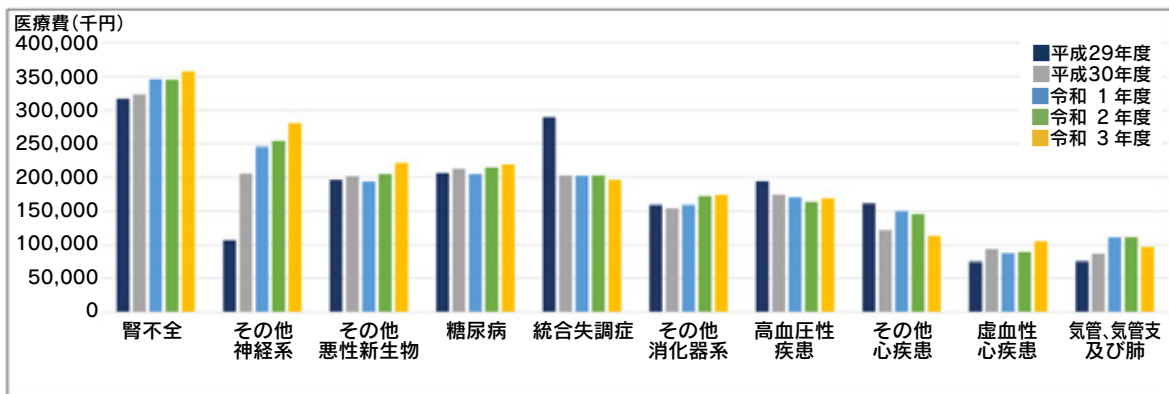
曾於市国民健康保険特別会計予算

議案第28号 **全会一致 可決**

問 令和5年度の給付費が減少しているが。

答 国保の給付費から団塊の世代の方々が後期高齢者へ移行したため減少した。また、これに伴い一般会計からの法定外繰入金が対前年度比2,000万円減の2億3,000万円である。

医療費の推移



曾於市後期高齢者医療特別会計予算

議案第29号 **賛成多数 可決**

問 令和5年度の給付費について。

答 給付費の伸びは0.9%を見込んでおり、県全体の予算額は2,938億1,658万7,000円で、うち曾於市分は86億8,544万7,000円である。

反対討論 後期高齢者医療広域連合議会の議員に市長や議長等が入っておらず、制度上の問題がある。

曾於市介護保険特別会計予算

議案第30号 **賛成多数 可決**

問 令和5年度の給付費について。

答 給付費の伸びは6%を見込んでおり、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5月8日から「5類」に引き下げられることから、これまで利用を控えていた方の利用増により給付費が増えることと、看護小規模多機能型居宅介護の設置に伴い、給付費の増加を見込んでいる。

反対討論 介護保険特別会計の新年度予算編成において、一般会計からの繰り入れ等を含めて全体的な理念が見えない。



曾於市生活排水処理事業特別会計予算

議案第31号

全会一致 可決

問 今後の合併浄化槽の譲渡はどうか。

答 令和5年度は、平成15年度に設置した100基を処分する計画で、現在、無償譲渡契約の同意を約80%得ている。

問 地方債残高について。

答 令和4年度末で元金が1億7,540万5,821円、利子が1,433万7,374円である。

意見 休止中の浄化槽で無償譲渡できないものの処分について、財政負担の平準化のためにも、公債費の償還も含めた計画を早めに立て、年次的に処理するべきである。

曾於市水道事業会計予算

議案第32号

全会一致 可決

問 建設改良費の固定資産購入費のうち、土地購入費とは。

答 末吉町にある橋野第4水源地の連絡用道路は、現在、橋野浄水場近くの河川沿いから通行するようになっているが、ポンプの故障時などで工事業者が通行する際、幅員が狭く、非常に危険であった。そこで、県道側から進入できるように、地権者と交渉を行ったところ、用地を取得するめどが立ったため、今回予算を提案した。



橋野第4水源地

曾於市公共下水道事業 会計予算

議案第33号

全会一致 可決

問 建設改良費のうち、処理場建設費の工事請負費とは。

答 下水道浄化センターに設置してある監視装置のシステムをクラウド型へ再構築するため、また、同センターの土壤脱臭施設の吸着材を入れ替えるため、それぞれ工事を行う。



下水道浄化センター

第1回定例会 全会一致で可決した議案

区分	議案番号	件名	区分	議案番号	件名
諮問	第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	議案	第17号	財産の無償貸付けについて
議案	第1号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について		第18号	字の区域変更について
	第2号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について		第19号	曾於市道路線の認定について
	第3号	曾於市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について		第20号	令和4年度曾於市一般会計補正予算(第10号)について
	第4号	曾於市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について		第21号	令和4年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)について
	第5号	曾於市情報公開条例の一部改正について		第22号	令和4年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)について
	第6号	曾於市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について		第23号	令和4年度曾於市介護保険特別会計補正予算(第5号)について
	第7号	曾於市手数料条例の一部改正について		第24号	令和4年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算(第5号)について
	第8号	曾於市議会議員及び曾於市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について		第25号	令和4年度曾於市水道事業会計補正予算(第5号)について
	第9号	曾於市国民健康保険条例の一部改正について		第26号	令和4年度曾於市公共下水道事業会計補正予算(第4号)について
	第10号	曾於市子ども・子育て会議条例の一部改正について		第27号	令和5年度曾於市一般会計予算について
	第11号	曾於市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		第28号	令和5年度曾於市国民健康保険特別会計予算について
	第12号	曾於市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		第31号	令和5年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算について
	第13号	曾於市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		第32号	令和5年度曾於市水道事業会計予算について
	第14号	曾於市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部改正について		第33号	令和5年度曾於市公共下水道事業会計予算について
	第15号	曾於市視聴覚ライブラリーの設置及び管理に関する条例の一部改正について		第34号	令和5年度曾於市一般会計補正予算(第1号)について
第16号	大内田地区頭首工災害復旧工事請負契約の変更について	発議	第1号	曾於市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	

私はこう判断しました

議決結果一覧

久長議員は議長のため、表決には参加しない。
 賛成「○」。賛成者のみを語る表決方法であるため、賛成者以外
 (反対者・態度保留者・棄権者等)は「●」としている。

議案	議員名	議員名																結果					
		山中雅人	出水優樹	瀬戸口恵理	矢上弘幸	片田洋志	重久昌樹	鈴木栄一	上村龍生	岩水昌昭	淵合昌信	今鶴治信	九日克典	土屋健一	原田賢一郎	山田義盛	大川内富男		渡辺利治	迫杉雄	徳峰一成		
第29号	令和5年度曾於市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決	
第30号	令和5年度曾於市介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決

Link

曾於市議会では定例会・臨時会の様子をインターネットによるライブ中継や録画配信を行っています。
 スマートフォンやタブレット端末から視聴できます。QRコードからもアクセスできます。ぜひご視聴ください。



市政を問う

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。

一般質問
10名の議員登壇

◆ 令和5年3月1日

1. ^{とくみね かずなり}徳峰 一成 (日本共産党) P13
○物価高、期待感が持てる支援策を ○高すぎる国保税、介護保険料を問う ○他市町村を超える人口増対策を
2. ^{かみむら たつお}上村 龍生 (創政会) P14
○曾於市大隅弥五郎伝説の里健康ふれあい館 (入浴施設) の管理全般 ○芙蓉部隊資料館の管理
3. ^{しげひさ まさき}重久 昌樹 (無所属自由クラブ) P15
○道路管理 ○ごみ収集
4. ^{さこすぎお}迫 杉雄 (無所属) P16
○森林行政 ○河川管理への対応 ○地域コミュニティ協議会

◆ 令和5年3月2日

5. ^{やまなか まさと}山中 雅人 (れいわ会) P17
○曾於市畜産のブランド化 ○新型コロナウイルスの5類移行に伴う変化 ○曾於市の空き家対策
6. ^{いまづる はるのぶ}今鶴 治信 (創志会) P18
○新型コロナウイルス感染対策 ○指定管理
7. ^{やがみ ひろゆき}矢上 弘幸 (れいわ会) P19
○起業支援金 ○曾於市公式LINE ○移住者
8. ^{わたなべ としはる}渡辺 利治 (創政会) P20
○市営住宅の運用 ○南九州畜産獣医学拠点事業

◆ 令和5年3月3日

9. ^{せとぐち えり}瀬戸口 恵理 (れいわ会) P21
○こども家庭庁創設におけるこども政策推進 ○農業を中心とした移住・交流促進、担い手不足解消
10. ^{いわみず ゆたか}岩水 豊 (新生会) P22
○小学校の統廃合 ○小規模水道施設事業補助 ○有害鳥獣対策及び被害箇所に対する救済

() 内は会派または政党名を記載しています。



とくみね かずなり
徳峰 一成
(日本共産党)

Question

物価高、支援策が
みられない。

Answer

市長／市独自のものができるとか検討したい。

Link



一般質問の録画

意見 ところが令和5年度予算には計上されていない。市長の施政方針にも言及されていない。あらためて6月議会で質問したい。

この1年半の市内の物価動向

魚	34%高	衣類	25%高
果物	27%高	資材	21%高
ドリンク	27%高	秋肥	56%高
調味料	15%高	春肥	46%高
紙類	38%高	飼料	22%高

※(令和5年2月調査)

市長 協議はした。

問 市内ではあらゆる物価が上がっている。市は物価高支援策を協議したのか。

物価高、期待感が
持てる支援策を

市長 市長として、市民生活を守る立場で積極的に発言したい。

提案② 「介護保険料について」
今後市民の負担を軽くするために一般会計

問 この二つは、市民にとって割高であり、これ以上値上げに走るべきではない。そのため次の点を提案したい。

提案① 「国保税について」
現在国民健康保険は、県内統一する過程にある。しかし曾於市民にとってはマイナズ面が大きいのではないか。

高すぎる国保税・
介護保険料を問う

市長 市独自の支援ができないか、検討したい。

問 曾於市は合併後1万人以上の人口減少がみられ、製造業の低迷など活力が弱くなっている。企業の要望に出来る関係を持つべきだ。

他市町村を超える
人口増対策を

低年金(80万円未満)受給者の現状

50万円未満	1,174人
50万円以上60万円未満	594人
60万円以上70万円未満	800人
70万円以上80万円未満	1,730人

※(令和4年度)

市長 制度上できないか、今後の課題としていたい。

からの財源繰入を提案したい。

ちょっと
ひとりごと

市民の願いは
物価高支援策
です。

副市長 市内企業と輪を広げられないか検討したい。

問 現在地域振興住宅には386人、宅地分譲地には70人のこどもが住んでいる。この二つの事業の、検証と発展を目指すべきだ。

市長 宅地分譲は積極的にやりたい。



Link



一般質問の録画

Question

芙蓉部隊資料館の管理について。

Answer

市長／今後の管理については、関係団体と協議し検討していきたい。



支所再編計画に関連した芙蓉部隊資料館の管理

問 支所再編計画に伴い図書館・郷土館・資料館・芙蓉部隊関連施設の計画概要は。

市長 大隅支所の新築に伴い、支所機能・中央公民館・図書館機能が併設機能として、建設予定である。郷土館の図書機能は支所施設へ、資料館は旧岩川小学校校舎を改修し「(仮称)曾於市郷土資料管理センター」に移設予定である。曾於市埋蔵文化財センターに保管されている資料については、埋蔵文化財等は旧岩川小学校校舎に移し、芙蓉部隊資料はそのまま残しそれぞれ展示・保管する予定である。

問 芙蓉部隊資料館が独立した場合の管理体制

制について、これまでも土日や休日に県外等遠方からの来客がかなりあり、会員の方が対応できるときは良かったが、対応できない時はそのまま帰られていた。この土日を含めた芙蓉部隊資料館に管理人を置くことが必要ではないかとの声の関係者の方々からある。管理については色々な方法があるが、市長の考えは。

市長 今後の管理については、関係団体とも協議し検討していきたい。



郷土の貴重な遺産

大隅弥五郎伝説の里健康ふれあい館(入浴施設)の管理全般

問 大隅弥五郎伝説の里健康ふれあい館(入浴施設)の指定管理と従業員の状況は。

市長 平成31年度から令和5年度までの5年間、曾於市社会福祉協議会を指定管理者としている。職員体制は、社協正職員2人、社協臨時職員7人、シルバー人材センター8人の合計17人である。

問 施設利用者の方から、「利用者からの声が市の上層部まで伝わりにくい状況にあるのではないか」との指摘がある。例えば、浴槽洗い場の傾斜が滑りやすくなっており、これまで転倒事故も発生している。状況把握と今後の対策について、市

長の考えは。

市長 利用者からの様々なご意見等があった場合は真摯に受け止めて、指定管理者の社会福祉協議会と協議していきたい。



憩いの場所

ちよっとひとりごと

施設利用者の声を大切に！



Question

ボランティア活動の収集ゴミは簡単に処理できないか。

Answer

市長／担当課と研究する。

Link



一般質問の録画

ゴミ収集

問 クリーンセンターへのゴミの持込み状況は。

市長 次のとおりである。

	搬入量 (t)	搬入台数 (台)
令和元年度	8,518	24万1,958
令和2年度	8,513	27万1,845
令和3年度	8,403	24万221

問 一日平均で令和元年度663台、令和2年度745台、令和3年度658台の搬入台数である。周辺環境を考えると支所等に収集場所を設置し、分散化は考えられないか。

市長 色々な問題点はあるが市民環境課と検

討する。



事故の多い交差点 安全第一で

問 高齢者等のゴミ出し支援は。

市民環境課長 シルバー人材センターと社会福祉協議会の有償サービスを紹介している。

問 市としても対策が必要ではないか。

市長 全体的な問題として検討する。

問 ボランティア活動の収集ゴミの処理は。

市民環境課長 一般のゴミ分別と同様の対応である。

問 他人が飲食したゴミを分別することは抵抗があるため、なるべく簡単に持込みができないか。

市長 分別が厳しいという声もあり、私もそのように思う。もう少し担当課と研究する。

道路管理

問 高齢化と人口減少で道路維持管理が難しくなるが市の対応は。

市長 農業公社でも今後、市道・農道の伐採作業を進めていく。

問 台風通過後の道路清掃の状況は。

土木課長 市道は全地域を対象とし、交通量が多いところを優先し対応する。

耕地林務課長 農道は地元管理が基本である。要望があれば建設業者で対応する。

問 台風通過後に出るゴミの収集はできないか。

土木課長 昨年も対応している。今後も可能である。

市長 柔軟な対応をしていく。

ちよっと
ひとりごと

捨てる人がいなければ拾う必要はないのになあ



Link



一般質問の録画

Question

千本桜の森
もっと春の桜・秋の紅葉を
観光に生かせないか。

Answer

市長

今後の整備計画では市有林の管理として桜以外の立木伐採及び下刈り作業を実施していく計画である。



さこすぎお
迫杉雄
(無所属)

森林行政

問 再造林・植栽の見直し及び森林環境譲与税の使い道は。

市長 令和3年度の伐

採面積は541ha、再造林面積は262ha、再造林率は48%の実績となっており、森林環境譲与税の使途は民有林の森林整備に活用、再造林や間伐等の実施林業労働力を確保、担い手対策等を推進していく計画である。

問 千本桜の森及び記念の森の管理は、今後本市独自の計画を盛り込むべきではないか。

市長 今後の整備計画

は、市有林の管理として桜以外の立木の伐採・下刈り作業を実施していく計画である。

記念の森は広葉樹林として森林の移り変わりを見守りながら維持管理を行う。



新田山憩いの森入口に立つ千本桜の森の看板

問 フラワーパーク予定地跡地を負の財産にしないため、森林環境譲与税で対応すべきではないか。

市長 森林としての利

活用を優先させ、適切な森林整備に努める。

河川管理への対応

問 市街地周辺や中学校下大淀川堤防の竹藪伐採をすべきだが、市長の見解は。

市長 中学校下の堤防

は、以前は通作のため利用者で主に伐採されてきた。市としては県に要望する。



大雨の時に心配だ

問 令和6年度以降は小学校区でない地区での地域コミュニティ協

地域コミュニティ協議会

議会の行事計画とPTA活動との兼ね合いはどうであるべきか、子ども達は地域で育てることが望ましいと考えるが見解は。

教育長 校区公民館と

小学校は学校行事等を中心に連携して子育てを図ってきた。これからは地域コミュニティ協議会の方々が中心となり、地域活性化の一環として子ども達の成長を見守っていくことになる。

ちよっと
ひとりごと

春の桜、秋の紅葉に
感動して
自然と文化を味方に
笑顔輝くことが
まちづくりだよな。



やまなか まさと
山中 雅人
(れいわ会)

Question

新しい畜産ブランドは どうなる？

Answer

企画政策課長／5年以内のブランド化と海外輸出を目指す。

Link



一般質問の録画

曾於市畜産のブランド化

問 財部の獣医学拠点で生産される牛肉はJGAP認証を見据えた今までとは違う牛肉となるが、今後のブランド展開は。

市長 「曾於牛」といったブランド化や場合によっては鶏肉のブランド化も国内外に発表していきたい。

問 「ブランド化」認定の際にどこが主体になるのか。

企画政策課長 鹿児島

大学と協議の上、南九州畜産獣医学拠点が認証するブランドになると思われる。

新型コロナウイルスの5類移行に伴う変化

問 青少年育成事業など本市の企画やイベントも中止が続いたが来年度はどうなるのか。

生涯学習課長 青少年育成事業など基本的に再開する方針である。

問 マスクも「着用を推奨」から「個人の判断」に切り替わる。特に小中学生のマスク着用は表情が読めなくなり、子どもの心の発達に良くないと思うが教育長の見解は。

教育長 マスクを着用

していることは子どもたちの成長にとって好ましいことではないと考えている。

曾於市の空き家対策

問 本市は空き家割合が23・47%と都市市の16・80%と比較して高いが対策は。

まちづくり推進課長 本年

度からリフォームに関して、空き家バンク利用促進事業補助金を新設し、空き家の改修の補助率を30%から50%に引き上げて空き家の解消を図る。

問 本市の空き家対策計画には目標値がない。計画である以上目標値を設定すべきではないか。

市長 目標値を持つよ

うに担当課に指示をしたい。

ちょっと
ひとりごと

「曾於牛」
ブランド確立
目指して
頑張ろう！



空き家が増えると景観も悪くなる
※フリー素材の写真を掲載しています。



Link



一般質問の録画

Question

小学校・中学校の卒業式・入学式のマスク、入場制限は。

Answer

教育長／マスクの着用は、児童生徒には、基本的に求めず、個人・家庭の判断とする。



新型コロナウイルス感染症対策

問 5月8日以降は、季節性インフルエンザと同じ5類に移行する予定だが、小学校・中学校の対応は、どのようになるか。

学校教育課長 季節性

インフルエンザ等の感染防止対策と同等の措置に移行し、クラスの3分の1以上が、欠席した場合は、拡大防止のため、学級閉鎖とする。

指定管理

問 3つの道の駅の過去3年間の運営状況は。

市長 次のとおりである。

道の駅名	令和元年度 売上(円)	令和2年度 売上(円)	令和3年度 売上(円)	令和元年度 来客数(人)	令和2年度 来客数(人)	令和3年度 来客数(人)
道の駅すえよし	5億925万	3億8928万	4億691万	37万602	25万8412	27万5294
道の駅たからべ	1億5019万	1億3754万	1億249万	17万8981	15万3574	9万7577
道の駅おおすみ	3億2691万	2億7810万	2億5729万	23万93	18万7559	17万1572

問 メセナ住吉交流センター、財部温泉健康センター及び大隅弥五郎伝説の里健康ふれあい館の各入浴施設における過去3年間の利用

入浴施設名	令和元年度 売上(円)	令和2年度 売上(円)	令和3年度 売上(円)	令和元年度 来客数(人)	令和2年度 来客数(人)	令和3年度 来客数(人)
メセナ住吉交流センター	7263万	4146万	4713万	20万4694	13万4999	14万5495
財部温泉健康センター	3019万	1813万	2125万	11万2107	6万9468	8万204
大隅弥五郎伝説の里ふれあい館	1045万	735万	869万	3万8196	2万7035	3万1399

問 令和2年度、令和3年度は、コロナ禍の

市長 状況は。次のとおりである。

影響による結果だと思われるが、令和4年度の現在までの実績は。

商工観光課長 令和3年度と比較して令和5年1月末現在、道の駅すえよしのレジ通過客数・精肉・レストランともに売上げは、増えている状況である。

問 今年度は、それぞれの道の駅において、各種イベント等を開催し、アフターコロナ対策をすべきではないか。

市長 今後何ができるか検討する。

ちょっとひとごと

人手不足は、深刻な問題である！



Question

商工業新規就業者支援対策事業補助金の上限年齢の撤廃はできないか。

Answer

市長／具体的に55歳以上の相談があれば検討したい。

Link



一般質問の録画



商工観光課長 新規就業後もしくは後継して2年以内の個人事業主または法人。18歳以上55歳以下の者。家族の総所得が600万円以下。

問 条件は。

令和	新規	後継者
2年度	7人	1人
3年度	9人	4人
4年度	7人	2人

新規就業者は毎月7万円
後継者は毎月5万円
2年間補助金が支給される

市長 次のとおりである。

問 過去3年間の利用状況は。

起業支援金

市長 次のとおりである。

問 曾於市、都城市、志布志市の公式LINEの登録者数は。

曾於市公式LINE

市長 検討したい。

問 55歳では定年退職前でリスクが大きい。定年退職後は第2の人生のスタートである。街の活性化にも繋がる。年齢制限の撤廃はできないか。

商工観光課長 1件廃業したが、補助金は返還してある。

問 5年間経営報告書を提出できずに補助金返還をした例は。



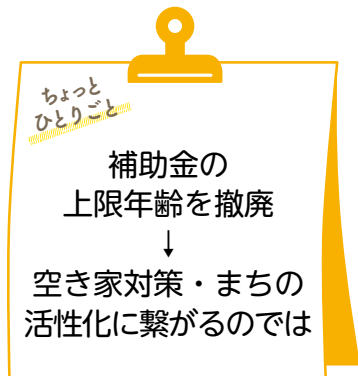
市長 充実を図りたい。

提案 公式LINEのメリットは次の通りである。
・災害時、情報が確実に伝わる（防災ラジオだと聞き逃しがある）
・リッチメニューから的確に知りたい情報を知ることができる
・知りたい情報が調べられるので、市役所で聞く手間が少なくなる
・市役所職員の質の向上につながる
・リッチメッセージでイベントの告知ができる

令和5年2月20日現在

	人口(人)	登録者(人)
曾於市	3.3万	3,501
都城市	15.8万	77,534
志布志市	2.9万	6,970

人口が曾於市の5倍の都城市は登録者25倍
人口が曾於市と同程度の志布志は登録者2倍



令和	問合せ	移住者
2年度	8件	34件98人
3年度	3件	27件83人
4年度	40件	19件49人

移住の問い合わせはあるが
移住者は年々減少傾向である

市長 次のとおりである。

問 過去3年間の実績は。

移住者

Link



一般質問の録画

Question

市管理空き部屋に 外国人技能実習生を！

Answer

市長／公営住宅等は入居資格制限があり無理。



わたなべ としはる
渡辺 利治
(創公会)

市営住宅の運用

問 政策空き家についての考えは。

市長 耐用年数に達するまでの10年間で政策空き家として新規募集はしない。

問 市が管理する住宅状況は。

市長 次のとおりである。

	入居中	政策空き家	空き家	合計
市営住宅	609	110	159	878
振興住宅	141	0	6	147
市有住宅	82	0	9	91

※政策空き家は、耐用年数に達するまでの10年間で政策空き家期間として新規募集を行わず、承継入居も現在同居している者のみに限定しています。

問 空き家対策として外国人技能実習生に貸す考えはないのか。

市長 外国人技能実習生の住居は雇用主が提供する義務がある。

問 市内には400人を超える外国人技能実習生が工場・農業・福祉施設等で働いており、市民として貢献しているのになぜ貸さないのか。

市長 公営住宅をシェアハウスなどとしての利用はできず、入居資格を守ってもらう。

問 入居できるように変える考えはないのか。

市長 近隣関係・敷金・共益費の問題・ごみ・コミュニケーション・言葉の問題等がある。

り、雇い主はこれらの対応が必要である。



借り手のない空き家。貸せば市の収入増

問 南九州獣医学拠点を更に発展させるための市長の考えは。

市長 地域活性化を図る上でも重要な意味がある。

問 この事業を畜産大国に相応しい特化したものの構想はないか。

市長 何が必要なのか

ちょっと
ひとりごと

外国人実習生も
同じ市民です。
貢献しています。
事業維持拡大のため
にも部屋確保から。



このままがいいのか？更に飛躍を！南九州畜産獣医学拠点の工事 令和5年3月16日現在

等を鹿児島大学などと話をしてみたい。



Question

子ども家庭庁創設に伴う
子ども基本法の施行への
本市の取組は。

Answer

市長／子ども又は子どもを養育する者等の
意見を幅広く聴取して反映させる。

Link



一般質問の録画

子ども家庭庁創設に
おける子ども政策推進
今後の予定は。

子ども未来課長

子ども園等のICT化やバス安全装置の設置、ファミリースポーツ、家庭訪問支援、子育てリフレシユ事業を予定している。

子ども基本法における校則への見解は。

教育長

今後はより子どもや保護者の意見を聞きながら定めるよう指導する。教育委員会は、学校管理規則の見直しを図り、子どもの権利を尊重しながら、学校長がより判断しやすい環境を整えていく。

学校への通知予定は。

学校教育課長

①校長の権限において校則は作成すること。②作成する際は、児童生徒お

よび保護者、地域等の意見を十分に踏まえた上で決定すること。③学校の教育目標を達成するために必要かつ合理的な範囲内において決定すること。④決定した校則や生活の決まりなどはホームページ等で必ず公表すること。をすでに通知した。

農業を中心とした移住・交流促進、担い手不足解消

グリーン・ツールの取組は。

市長

修学旅行が主である。

ふるさとワーキングホリデーの取組は。

農政課長 今後、研究させていきたい。

南九州畜産獣医学拠点でも関わりの深い鹿児島大学とのインターンシップの取組は。

市長 現在、登録はないが、連携強化のために検討したい。

学生に本市へ就職してもらうためには。

市長

具体的なことはまだだが、大学と連携し、本市を知ってもらい、就職先と繋がる取組を強めていきたい。

農業バイトマッチ

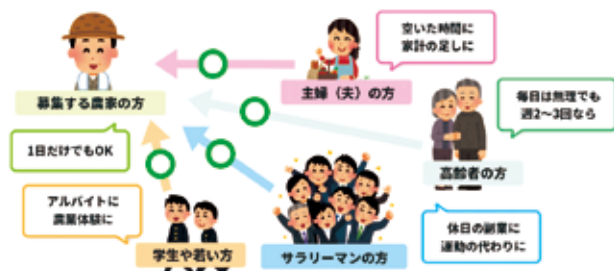
仕事さがし						
仕事	逆指名			通知でお知らせ		
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10 11A 3A	11 11A	12 6A
13 5A	14 2A	15 2A	16 2A	17 2A	18	19
20 1A	21 1A	22 1A	23 1A	24 1A	25	26
27 1A	28	29	30 1A	31 1A		

カレンダーから日を選択してください

- 応募 応募中です(お仕事に行くことができます)
- 待機 キャンセル待ちの状態です(お仕事に行くことができます)
- 成立 成立しました(お仕事に行くことができます)
- 辞退 一度成立した仕事を学職者がキャンセルしました
- 中止 その日の仕事自体がなくなりました(天候、農務状態等)
- 満席 その日までもらわなくても良くなりました
- トク 生産者側があなたをドタキャンしたと判断しました

アプリから気軽に農業バイトの予約ができる

ちょっとひとごと
ワーキングホリデーや農業マッチングアプリは結婚・移住定住のきっかけにも



交流人口増も期待できる

農政課長 今後、研究させていきたい。
市長 農業の人手不足は深刻。農家の声を聞きながら開始したい。
ングアプリについては。

Link



一般質問の録画

Question

小学校の統合は。

Answer

市長／行政主導の統合はしない。



小学校の統廃合

問 小規模校の今後は。

教育長

令和3年度から5年度末までに、3校が閉校する。小規模校は教育活動の制限など課題もあるが、地域の中核施設としての重要な役割も担っている。行政主導の学校統合は今のところ考えていない。地域や保護者間で議論を尽くした上で、検討していただきたい。

問 教育環境の格差は。

教育長

学力や体力格差は見られないが、複式授業において、2学年指導のため教師が常に児童の学習を見ることができず、教育活動に制限される場合もある。

る。

小規模水道施設事業補助

問 既存給水施設の更新・給水区域の制限が

条例では記載されているが、山間部で人家が点在している地区では、自治会単位で給水施設を整備すると多くの費用がかかる。柔軟な対応はできないか。

市長

区域内であつても自家水を使用しているなど全戸加入が難しい場合など、その都度検討し、柔軟に対応するようにする。

有害鳥獣対策・被害箇所に救済を

問 イノシシ被害対策のワイヤーメッシュ防護柵事業の推進を。

護柵事業の推進を。

市長 令和3年に1回市報で広報しただけだったので、広報を強化する。

問 イノシシ被害により水路、農道の崩壊等の被害に復旧作業に救済できないか。

市長

生コンなどの材料支給を活用していただきたい。規模が大きい場合については、対応を早急に検討する。



防護柵事業の推進を



イノシシ対策用の防護柵

ちょっとひとりごと

イノシシ被害への支援を早急に

議会運営委員会閉会中所掌事務調査報告

調査地…静岡県藤枝市

調査事項…

- ◆議会改革への取組について
- ・決算特別委員会による事業評価
- ・常任委員会（市長提言）
- ・予算特別委員会の流れ

調査期間…

令和5年1月25日(水)～26日(木) 2日間

藤枝市議会の議員定数は22人で、議会活動の活性化に向け、新たな視点に立った議会改革に取り組み、平成22年度から決算特別委員会を設置、その審査結果を議会から行政へ伝えていく働きとして、主要事業の成果に議会の事業評価を加え、行政に対して提言を行っています。また、開かれた議会づくりの一環として「議会タウンミーティング（議会報告会）」をいち早く開催し、令和2年度には通年議会を導入するなど、議会改革における先進地であります。

藤枝市では、議会も組み込まれたPDCAサイクル（計画⇒実行⇒評価⇒改善）により行政評価を行う仕組みが確立されており、議会においても市民目線での積極的な議会運営がなされ、本市議会の議会運営においても、大いに参考となりました。



議会広報等調査特別委員会事務調査報告

調査地…埼玉県寄居町・東京都あきる野市

調査事項…

- ◆議会だよりの編集について
- ・発行までの流れ
- ・委員の役割分担
- ・議会だより作成に当たって心掛けている点等

調査期間…

令和5年2月7日(火)～9日(木) 3日間

寄居町議会広報紙「お元気ですか寄居議会です」の編集方針は「読まれない議会だよりに出す意味なし！」を掲げ、議員全員が同じ想いで紙面作りに取り組んでいました。全国町村議長会広報コンクールにおいて常にコンクール上位にあることから、議員全員が広報紙編集に対する意識が高いと感じました。

あきる野市議会だよりは平成23年、リニューアルの必要性を感じ、議会全体の課題として話し合いを続け、取り組んだ結果、平成25年2月発行号からリニューアルの運びとなりました。表紙のタイトルを「議会だより」から「ギカイの時間」とし、掲載内容も大きく変え、読み手に息苦しさを感ぜさせないホワイトスペース（余白を作る）を設け、「手に取ってもらえる表紙づくり」、「表現方法や読みやすさの工夫」、「興味を引く特集」等に取り組まれています。

2市町は、広報広聴委員会で、広く一般の方の意見や要望等を聴いて広報紙に掲載されており、また、委員会構成は期数の長い議員が多く、広報紙作りに真摯に取り組む姿勢と熱意を感じ、市民に議会広報紙を手にとって読んでもらうには、どのように編集を行うべきか多くのことを学びました。





夢 チャレンジ



「さんすう教室コポリ」に通う子どもたち
後方右から2番目が大瀬さん

財部町の大瀬優子さん、2021年の年末、福岡県から家族5人で移住後、大人のワクワクを叶える「ひみつ基地ジャジャ」や、12歳までのお子さん向け「さんすう教室コポリ」などを運営されています。

共通する夢は、「みんなが自分を偽らずに『自分が大好き』と言える社会」。

大瀬さんが目指すのは、誰かの得意が誰かの苦手を埋め、誰かの苦手が誰かの得意を育て、誰かのやりたいが誰かの我慢をなくして、誰かの好きが誰かを笑顔にする世界です。

大人の「やりたい」を応援するひみつ基地や、子どもたちの良さを観察するさんすう教室を通じて、自分らしく人生を楽しむ力を育み、多くの子どもが通う学校が、ありのままの良さを活かして生きていく礎の場となるよう、今できることを日々模索しながら活動されています。

(瀬戸口)

表紙によせて

大隅弥五郎伝説の里は1500本以上のソメイヨシノが植林されている曾於市内有数の桜の名所です。15メートルある弥五郎どんの銅像から見る満開の桜は絶景です。

今年の春はコロナ規制も緩和された影響か、賑わいが大分戻ってきている様子でした。これからも賑わいのある大隅弥五郎伝説の里であってほしいと思います。

(山中)



ライトアップされた夜桜

編集後記

令和5年3月5日に114年の歴史がある財部北小学校の閉校式、閉校記念碑の除幕式が行われました。多くの地域住民をはじめとする、卒業生、自治会関係者、学校関係者等、たくさんのお出立者のもと盛大に開催されました。

財部北校区には、荒武タミさんが演奏していた「ゴッタン」が長く伝統として受け継がれています。式典の中でも老若男女、たくさんの人々が演奏し、花を添えました。まだまだ、財部北校区は元気です。閉校は時代の流れかもしれませんが、地域住民のエネルギーが沸々と伝わった日でした。

(片田)



私たちが作っています。いろいろなご意見を

お聞かせください。



前列左から鈴木委員長・瀬戸口副委員長
後列左から矢上委員・山中委員・片田委員・出水委員

議会広報等調査 特別委員会

- | | |
|-------|--------|
| 委員長 | 鈴木栄一 |
| 副委員長 | 瀬戸口恵理 |
| 委員 | 山中雅人 |
| 〃 | 出水優樹 |
| 〃 | 矢上弘幸 |
| 〃 | 片田洋志 |
| 発行責任者 | |
| 議長 | 長久長登良男 |

